



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月7日

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ
コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 CEO (氏名) 松崎 善則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員CFO (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	32,155	8.4	2,502	35.0	2,766	32.2	1,798	35.9
2023年3月期第1四半期	29,664	17.4	1,853		2,093		1,323	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,789百万円 (44.1%) 2023年3月期第1四半期 1,241百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	63.48	
2023年3月期第1四半期	46.45	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	55,808	33,182	59.5	1,187.38
2023年3月期	61,184	33,702	55.1	1,182.72

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 33,182百万円 2023年3月期 33,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		12.00		35.00	47.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		17.00		38.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,300	6.3	7,000	10.0	7,420	7.5	4,830	11.2	169.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	30,213,676 株	2023年3月期	30,213,676 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,267,920 株	2023年3月期	1,718,392 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	28,332,007 株	2023年3月期1Q	28,495,309 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
【第1四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行されたことに伴い、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調にあります。一方、原材料価格の上昇や円安の進行等によりインフレ傾向が続くなど、先行き不透明な状況が続いています。衣料品小売業界においても、原材料高や急激な為替変動等の影響が続いたものの、外出需要や消費マインドが上向いたほか、インバウンド需要も回復するなど事業環境は堅調に推移しました。

このような状況の下、当社は2033年3月期を最終年度とする長期ビジョン「美しい会社ユナイテッドアローズ、真善美を追求し続けることでサステナブルな社会の実現に貢献し、お客様に愛され続ける高付加価値提供グループになる」とともに、その達成を目指して2026年3月期を最終年度とする中期経営計画「感動提供 お客様と深く広く繋がる」を策定し、3つの戦略を推進しています。

2024年3月期は「感動提供 新しい価値提供に向けて踏み出す」を経営方針に掲げ、3つの戦略の実行により長期ビジョンと中期経営計画の実現を目指します。

1つ目のUA CREATIVITY 戦略では、既存事業の成長拡大、ブランド力の強化、(株)コーエンの再成長へ向けて取り組んでいます。

既存事業の成長拡大については、人流回復や消費マインドの高まりに伴い、小売+ネット通販既存店売上高前年同期比(単体)が109.1%と伸長しました。既存事業の出店も加速させ、当第1四半期連結累計期間に3店舗を出店した「CITEN」では、実店舗を通じてブランドの認知拡大を図るとともに、商品面の修正や販売手法の見直しなど出店によって見えた課題への対応を進めています。また、外国人観光客の回復に伴い、免税売上(単体)は前年同期から約12倍、売上高構成比は前年同期から2.5ポイント増加の2.7%となり、売上成長に寄与しています。

売上総利益率向上に向けて、引き続き在庫調達量をコントロールしたうえで定価販売が好調に推移したことにより、プロパー消化率(*)が前年同期から改善しました。併せて商品クオリティの向上を伴う精緻な価格設定の実施や、過年度在庫の縮小などによる単体アウトレット売上総利益率の改善も寄与し、売上総利益率が前年同期から0.4ポイント良化しました。

ブランド力の強化については、ブランド価値創造の源泉である従業員のエンゲージメント向上を目指し、職能開発につながる教育機会の充実などの人事施策を講じています。

(株)コーエンは、小売既存店が堅調に推移したものの、前連結会計年度の退店による小売全店売上の減に加え、今年2月にリニューアルした自社通販サイトでセール販売を縮小したことなどによる通販売上の減により、前年同期比で減収となりました。足元では、再成長に向けてターゲット設定を見直したマーチャンダイジングへの修正を進めています。

(*) プロパー消化率： 総仕入金額の内、プロパー(定価)で販売した金額の比率

2つ目のUA MULTI 戦略では、業容拡大に向けた事業開発やグローバル展開の拡大によって、当社の価値提供の領域を広げ、お客様層を拡大させることを目指しています。当第1四半期連結累計期間では、グローバル展開の拡大に向けて上海に期間限定店舗を出店しました。ブランドの認知を広げるとともに、中国本土のお客様の嗜好やニーズといったマーケット特性を把握するなど、今後の本格展開に向けた足掛かりとなりました。

3つ目のUA DIGITAL 戦略では、OMO(*)の推進とサプライチェーンの最適化を軸に取り組んでいます。OMOの推進では、今夏に会員プログラムを改定しました。新プログラムでは、当社との接点増加により当社に対するロイヤルティ向上を促し、継続的にご愛顧いただける関係性を築きます。自社通販サイトにおいては実店舗在庫の引き当て販売等が奏功し、同サイトの売上高前年同期比は117.6%と大きく伸長しました。サプライチェーンの最適化では、今後の業容拡大に対応し得る商品管理基幹システムの刷新準備などを継続して進行了しました。

(*) OMO： Online Merges with Offlineの略。オンラインとオフラインの融合を指す。

出退店については、ミッド・トレンドマーケットで4店舗の出店、1店舗の退店、アウトレットで1店舗の出店を実施した結果、当第1四半期連結累計期間末の小売店舗数は192店舗、アウトレットを含む総店舗数は219店舗となりました。

連結子会社の状況については、株式会社コーエン（決算月：1月）、海外子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司（決算月：1月）とも減収となりました。出退店については、株式会社コーエンは1店舗の退店により当第1四半期連結累計期間末の店舗数は74店舗、台湾聯合艾諾股份有限公司の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は8店舗となっています。

以上により、グループ全体での新規出店数は5店舗、退店数は2店舗、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は301店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比8.4%増の32,155百万円となりました。売上総利益は前年同期比9.3%増の17,678百万円となり、売上総利益率は前年同期から0.4ポイント増の55.0%となりました。販売費及び一般管理費は各項目で売上回復に伴う変動費の増加などにより前年同期比5.9%増の15,176百万円となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の営業利益は2,502百万円（前年同期比35.0%増）、経常利益は2,766百万円（前年同期比32.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,798百万円（前年同期比35.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比較して4,750百万円（11.4%）減少の36,854百万円となりました。これは、現金及び預金が4,451百万円、商品が289百万円、未収入金が853百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して626百万円（3.2%）減少の18,954百万円となりました。これは、店舗の出店などにより有形固定資産が23百万円、基幹システム刷新に向けた準備などにより無形固定資産が154百万円、それぞれ増加した一方、店舗の退店に伴い差入保証金が46百万円減少したこと、及び繰延税金資産が765百万円減少したことなどによります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比較して4,911百万円（20.9%）減少の18,540百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,345百万円、短期借入金が344百万円、未払金が993百万円、未払法人税が1,012百万円、賞与引当金が1,354百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して54百万円（1.4%）増加の4,085百万円となりました。これは、出店などに伴い資産除去債務が54百万円増加したことなどによります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して519百万円（1.5%）減少の33,182百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により1,798百万円増加した一方、配当金の支払により997百万円減少したこと及び自己株式を1,311百万円取得したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきまして、2023年5月10日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,562	4,111
受取手形及び売掛金	109	149
商品	20,128	19,838
貯蔵品	511	534
未収入金	11,398	10,545
その他	893	1,674
流動資産合計	41,604	36,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,320	3,449
機械及び装置（純額）	676	648
土地	569	569
建設仮勘定	92	6
その他（純額）	307	315
有形固定資産合計	4,966	4,990
無形固定資産		
その他	1,682	1,837
無形固定資産合計	1,682	1,837
投資その他の資産		
差入保証金	6,626	6,579
繰延税金資産	3,235	2,469
その他	3,068	3,079
貸倒引当金	-	△2
投資その他の資産合計	12,930	12,126
固定資産合計	19,580	18,954
資産合計	61,184	55,808
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,729	8,384
短期借入金	2,504	2,160
未払金	4,266	3,273
未払法人税等	1,303	290
賞与引当金	2,017	663
役員賞与引当金	48	12
店舗閉鎖損失引当金	136	136
資産除去債務	237	223
その他	3,207	3,397
流動負債合計	23,451	18,540
固定負債		
資産除去債務	4,002	4,057
その他	27	27
固定負債合計	4,030	4,085
負債合計	27,482	22,625

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,444	4,444
利益剰余金	31,429	32,231
自己株式	△5,006	△6,318
株主資本合計	33,897	33,387
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△195	△204
その他の包括利益累計額合計	△195	△204
純資産合計	33,702	33,182
負債純資産合計	61,184	55,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	29,664	32,155
売上原価	13,482	14,477
売上総利益	16,181	17,678
販売費及び一般管理費	14,328	15,176
営業利益	1,853	2,502
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	118	114
仕入割引	14	8
受取賃貸料	3	3
持分法による投資利益	61	124
その他	56	29
営業外収益合計	253	280
営業外費用		
支払利息	4	2
賃貸費用	3	3
その他	6	11
営業外費用合計	13	16
経常利益	2,093	2,766
特別損失		
固定資産除却損	-	15
減損損失	56	19
特別損失合計	56	34
税金等調整前四半期純利益	2,037	2,731
法人税、住民税及び事業税	234	167
法人税等調整額	478	765
法人税等合計	713	933
四半期純利益	1,323	1,798
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,323	1,798

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,323	1,798
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△81	△9
その他の包括利益合計	△81	△9
四半期包括利益	1,241	1,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,241	1,789
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,037	2,731
減価償却費	217	213
無形固定資産償却費	97	96
長期前払費用償却額	154	165
減損損失	56	19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△338	△1,354
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	△36
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	2
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	4	2
売上債権の増減額 (△は増加)	590	651
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,407	266
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	15	△624
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,615	△1,272
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△230	△755
持分法による投資損益 (△は益)	△61	△124
その他	27	14
小計	2,369	△5
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△4	△2
法人税等の支払額	△409	△1,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,955	△1,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△66	△434
資産除去債務の履行による支出	△50	△49
無形固定資産の取得による支出	△185	△309
長期前払費用の取得による支出	△1,274	△71
差入保証金の差入による支出	△2	△33
差入保証金の回収による収入	43	79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,536	△818
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,300	△344
自己株式の取得による支出	-	△1,311
配当金の支払額	△311	△925
その他	-	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,611	△2,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	△81	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,273	△4,451
現金及び現金同等物の期首残高	5,593	8,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,319	4,111

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式549,500株の取得を行い、単元未満株式の買取による増加も含め、当第1四半期連結累計期間に自己株式が1,311百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が6,318百万円となっております。